

ちどり

vol.48

OCTOBER 2021



診療科のご紹介

特集1 ▶ 脳神経内科／リハビリテーション科

特集2 ▶ 腎臓内科／腎臓病相談外来を始めました



Contents

■ 看護師特定行為研修について
■ 就任のごあいさつ

■ チーム医療 PCT 口腔ケアチーム
■ いずみ病棟 コロナ禍での取り組み

■ 総合支援センタートピックス
■ 当院のおすすめスポット



特定看護師（仮称）はチーム医療の担い手

副院長 岡林 寛

※写真時のみマスクを外しています。

本 年6月にスタートした看護師特定行為研修はコロナに屈することなく着々と前進している。福岡東医療センター第1期特定看護師（仮称）を目指す研修生3名の腫はいつもキラキラしており、確かなモチベーションが感じられる。鮮やかなオレンジ色のユニフォームと凛としたマスク姿が好印象である。

看 護師特定行為研修は、元々後期高齢者の急激な増加で需要が増す在宅医療やへき地医療での活躍を期待されて生まれた制度である。手順書に従い医師の診療補助を託された職種ではあるが、当初は医師のタスクシフトとしての役割はあまり重要視されていなかったと言うかむしろタブー視されていた。しかし、医師の働き方改革がクローズアップされる現状において、このタブーが一気に解禁された印象がある。多種多様な医療スタッフにより最適の医療を提供するという「チーム医療」の推進もこれを後押ししている。当然各々は高い専門性を要求されるわけであり、特定看護師（仮称）もしかり、信頼される臨床能力をつける必要がある。



研 修は共通科目、区分別科目と進み、これまでの試験は全員甲種合格した。これから臨床実践能力の獲得に直結する臨床実習へと進み山場を迎える。医療安全を確保しつつ優しく厳しく育てていきたい。教育担当各位の協力からお願いする。



仮 称としたのに違和感を持たれた方もいると思うが、実は特定行為研修卒業生の名称が決まっていない。厚生労働省の文言では、「特定行為研修修了看護師」と非実用的な表現しかない。NHOが独自にNPをJNP（診療看護師）と命名したように、JSNがいいのではと勝手に考えている。（SN：specific nurse）

予 定通り実習が進めば今年のクリスマスに福岡東医療センター卒業のJSN（仮称）3名が誕生する。



脳卒中治療に欠かせないこと

脳神経内科医長 立花正輝



※写真時のみマスクを外しています。

脳神経内科に所属しております立花正輝と申します。今年度からリハビリテーション科の医長としても活動させて頂いております。さて、脳神経内科では脳血管障害（脳梗塞・脳出血・一過性脳虚血発作）を中心に、めまい、頭痛、痙攣発作、認知症、髄膜炎、その他の神経疾患（パーキンソン病、重症筋無力症、他）などの診療に当たっています。

特に脳梗塞では近年治療の進歩がめざましく、発症からすぐに来院された患者さんでは、点滴で血の塊を溶かす静脈血栓溶解（rt-PA）療法に加えて、大きな血管が閉塞していればカテーテルによって血の塊を取り除く血栓回収療法がスタンダードな治療として行われるようになりました。当院では脳神経外科の先生方と協力し、これら緊急の治療を実施しています。

脳卒中治療に欠かせないことは、発症してすぐに来院して頂く、ということです。脳卒中の症状は、“突然の”、しゃべりにくさ、顔の歪み、片側手足の脱力、感覚障害などです。脳卒中患者さんに確認すると、「〇月〇日〇

時の何をしている時に発症した」と的確に答えられる方が多いです。脳卒中診療は時間との勝負です。これら突然の症状が出現したときには是非医療機関を緊急受診されて下さい。

幸い脳卒中急性期を乗り切ったとしても、脳卒中後に車の運転が可能かどうか悩まれる方もいらっしゃるかと思います。もちろん、治療を受けた急性期病院、リハビリ病院で尋ねて頂くのが大原則ですが、当院では自動車運転に必要な能力が維持されているかどうか外来で確認をさせて頂いています。必要のある方は自動車学校で実車テストをして頂き判断しています。本人、家族の方で悩んでおられる方がいらっしゃれば、ご相談下さい。

話が変わりますが、未だに新型コロナウイルスによって外を出歩きにくい、運動量が減ったという方も多く存じます。当院ではリハビリテーション科を中心に「家DEリハビリ福岡東いきいきプログラム」として、家で実行可能な運動プログラム、誤嚥性肺炎予防方法、認知症予防運動などを記載したパンフレットを作成していま

す。もちろん、密を避けて散歩などができれば最高ですが、なかなか出歩く機会がない、どのような運動をしてよいかわからない、といった方がおられましたら、当院ホームページ、リハビリセンター紹介ページで確認できるこのパンフレットを一度手に取られてみて下さい。また、このパンフレットは当院や古賀市の一部の施設でも配布させて頂いております。今後とも、皆様の健康寿命が伸びるためのお手伝いをさせて頂ければ幸いです。

QRコードを読み込むと
当院リハビリセンターの
ホームページが
表示されます。



！！運動を行う時の注意！！

- ・無理に伸ばしたり、反動をつけて行わない
- ・痛みがでたり、痛みが増すときは、速やかに中止する

筋力強化運動

スクワット

- ・両方の膝を一緒に、1・2・3・4と数えながら約30°曲げる。
- ・そのまま5秒止め、ゆっくり伸ばす。



足のうしろあげ

- ・一方の足を1・2・3・4と数えながら後ろにゆっくりあげる。
- ・膝直角まであげたら、そのまま5秒止め、ゆっくりおろす。





家DEリハビリ
福岡東いきいきプログラム

就任の ごあいさつ

今回、新たに
福岡東医療センターへ
配属された先生方を
ご紹介します



氏名 とだ しおり
戸田 志緒里

職名 麻酔科医師

資格 日本麻酔科学会 麻酔科専門医

所属学会 日本麻酔科学会
日本心臓血管麻酔学会

コメント 6月より赴任して参りました麻酔科の戸田志緒里と申します。毎日、手術麻酔をしております。よろしくお願い致します。



氏名 いしづ けんや
石津 研弥

職名 整形外科医師

所属学会 日本整形外科学会
西日本整形外科学会

コメント 2021年10月より当院に赴任して参りました整形外科の石津です。趣味はゴルフです。よろしくお願い致します。



氏名 せお だいすけ
瀬尾 大介

職名 麻酔科医師

資格 麻酔科標榜医・認定医

所属学会 日本麻酔科学会 集中治療学会
緩和医療学会 心臓血管麻酔学会

専門 麻酔全般

コメント 安全な手術運営に努めていきます。



氏名 おおくさ すぐる
大草 超

職名 麻酔科医師

所属学会 日本麻酔科学会
心臓血管麻酔学会

専門 手術麻酔

コメント 福岡大学麻酔科に入局しています。半年間お世話になります。



氏名 ながさわ こうた
長澤 功多

職名 小児科専攻医

所属学会 日本小児科学会

コメント 10月より当院に赴任致しました小児科の長澤功多と申します。古賀・宗像地域の子どもの成長のお手伝いをしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



腎臓病相談外来を始めました

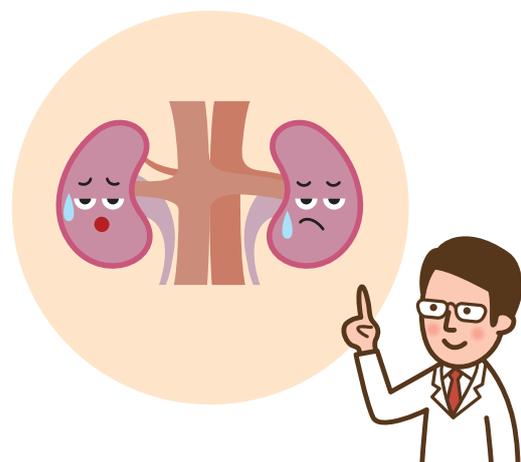
腎臓内科医長 黒木裕介

腎臓内科は常勤医師5名で、タンパク尿・腎機能低下から急性腎障害・血管炎症候群まで軽症・重症問わず幅広く診療しております。昨年度より新たに開設した腎臓病相談外来についてご紹介します。



腎臓病相談外来とは？

2020年9月よりCKDステージG4、G5の患者さんを対象に腎臓病相談外来を始めました。腎機能の指標である推定糸球体濾過量(eGFR)は年とともに低下すると言われており、高齢化を背景に腎臓病患者さんは増加しています。慢性腎臓病(CKD)は推定糸球体濾過量(eGFR)をもとにステージが決められています。eGFRは年齢と血清クレアチニン値から算出されるため、血液検査を施行すれば自動的に検査結果に反映



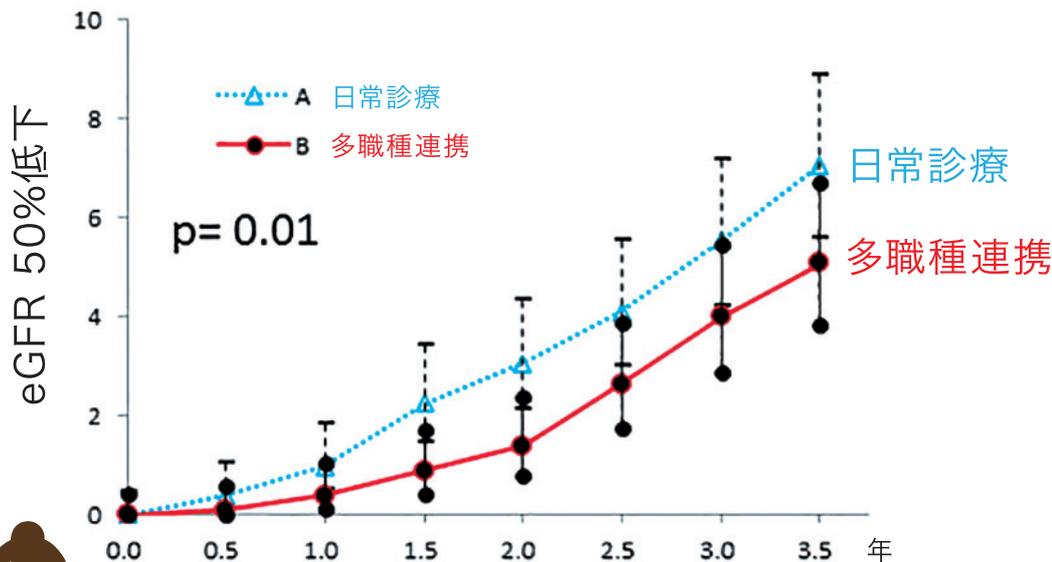


図1：多職種連携によりeGFRが50%低下する割合は減少する (Yamagata K, et al. PLoS One 2016)

されています。CKDはステージが5つに分けられておりeGFRが30ml/min/1.73m²未満の方はステージG4、15ml/min/1.73m²未満の方はステージG5であり腎機能が最も低下した状態です。G5に至れば、近いうちに腎代替療法が必要となります。腎臓病相談外来は患者さんとご家族に、患者さんのCKDの現状、腎代替療法を延長するために出来ること、具体的な腎代替療法の内容を中心にご説明しております。腎・透析領域を理解した看護師が、月曜・木曜日の午前中に1時間を目安に行っております。

もし腎代替療法が必要となれば、その治療方針を決定しなければなりません。腎代替療法は現在、血液透析、腹膜透析、腎移植の3であり、このいずれかを選んで治療を行わなければ命に関わる状態となります。この3つの治療法は、治療内容、治療に費やす時間、受ける手術、在宅管理の方法など全く異なります。患者さんの併存疾患、お仕事、生活スタイル、希望や考え方、そしてその患者さんを支えるご家族の考えも様々ですので、選ぶと言っても簡単に選べるものではありません。また診察する医師も、限られた診察時間で十分に説明が出来ていないこともあります。患者さんに現在のCKDの状態を理解して頂き、十分な時間をかけて腎代替療法に関する情報を知って頂くことを心が

けています。そして十分に検討し納得して頂いた上で治療方針を決定してもらいたいと考えています。このように、日常診療だけでなく多職種より説明を受けたCKDの患者さんは、eGFR低下期間を先延ばしする効果も期待されています (図1)。

腎臓病相談外来はeGFRが30ml/min/1.73m²未満のステージG4、G5の患者さんが対象であり、完全予約制となっております。当院腎臓内科へご紹介頂ければ、当院医師より患者さんへ説明の上、腎臓病相談外来を予約いたします。大事な治療方針を決めるため、患者さんのご家族も一緒に受けて頂きたいと思えます。どうぞお気軽に腎臓内科にご紹介ください。

今後も地域の先生方と緊密に連絡をとり、皆様とともに地域医療に貢献して参ります。



腎臓病相談外来

月曜・木曜日 ① 9:00~10:00
② 10:00~11:00

効 果的な口腔ケアを行うことで、虫歯や歯周病予防だけでなく肺炎の予防やQOLの維持・向上に繋がることは広く知られています。ヘンダーソンの著書「看護の基本となるもの」では、「患者の口腔内の状態は看護ケアの質を最もよく表すもののひとつである」と述べられています。私たち口腔ケアチームも、質の高い口腔ケアを行うことで、満足度の高い医療提供と患者のQOLの向上へつなげていきたいと考えています。

当 院は日本口腔ケア学会の認定施設であり、口腔ケアチームは、2012年より活動を開始しました。現在、

歯科口腔外科医師2名、摂食・嚥下障害看護認定看護師1名、言語聴覚士1名、看護師長1名、副看護師長2名のメンバーで構成されています。今年度は、開口困難がある患者や絶食中の患者、そして経管栄養中の患者に対し介入を強化しています。

週 1回の口腔ケアチームラウンドには、全病棟に配置されている口腔ケアリンクナースも参加します。現場の看護師から抽出された問題に対し、各職種の専門分野の視点で検討し、支援しています。また、患者の良好な口腔衛生や口腔環境を保つことは口から食べることも重要で

ラウンドでは、摂食・嚥下障害看護認定看護師や言語聴覚士による摂食の支援も同時に行っています。

入 院中に実施した口腔ケアは、退院後も在宅や施設等で継続されるように地域医療機関や訪問看護と詳細な情報交換を行うなど、連携を強化したいと考えています。



「口腔ケアチーム」の構成

歯科口腔外科医師

口腔ケアチームリーダー口腔内の症状を悪化させる医療的要因について検討し、診断に基づいた口腔ケアの指示を行う。

口腔ケアリンクナース

口腔ケアチームとともに口腔ケアラウンドを行い、ケアの実践方法を学び、各看護単位における口腔ケアの実践・指導を行う。

言語聴覚士

摂食嚥下のリハビリの際に、誤嚥となりうる口腔環境についてチェックをする同時に、歯科口腔外科医師とともに、誤嚥予防の対策を検討する。

摂食・嚥下障害看護認定看護師

摂食嚥下障害の実践を通じて、看護師に対して役割モデルを示すとともに具体的な指導を行う。

看護師長・副看護師長病棟口腔ケアリンクナースと連携し、各看護単位における口腔ケアの実践・教育を行い質の高い看護の提供を行う。



いずみ病棟での取り組みを紹介

コロナ禍でも笑顔を ～院内行事や食事提供での多職種の取り組みの紹介～

療育指導室 保育士 荒川 美里

いずみ病棟は医療的ケアを必要とする重症心身障害児者が長期で入所されている病棟です。医療機関としての役割に加えて福祉サービス事業所としての役割があり、多職種と連携して入所者の生活を支える役割もあります。

これまでいずみ病棟ではレクリエーション活動として、ご家族・ボランティアとともに参加する病院内の行事や病院外への外出行事、季節に合わせた行事等、様々な活動を行ってきました。しかし、昨年より新型コロナウイルス感染症流行を受けて面会や外出、行事等の様々な場面で制限され、これまで通りの活動を提供することが難しくなりました。そこでコロナ禍の制限がある中でも、入所者の皆さんが楽しんでいただけるように、院内でできる行事、栄養管理室の季節に合わせたメニュー提供やパフォーマンスを行いましたのでご紹介します。

院内行事では、夏は「七夕」「星空」、秋は「お祭り」、冬は「クリスマス」とそれぞれの季節に合わせた環境設定を行いました。テーマにちなんだ装飾や映像、音楽の鑑賞、アロマ芳香等の様々な感覚体験を通して、普段なかなか体験できないような時間を過ごせる内容の行事を計画しました。行事当日は、会場に入った途端普段とは違う雰囲気に入所者の皆さんの表情が変わり、音楽や光、香りに癒されてリラックスされている姿が見られました。氷に触れて冷たい感覚を味わう入所者や、風船や様々な素材の布等の装飾に触れることを楽しむ入所者もいらっしゃいました。また、職員でお神輿を囲み、少人数での盆踊り等の出し物に入所者の皆さんを中心に職員も一緒に盛り上がり、賑やかな雰囲気に包まれました。

栄養管理室が企画したパフォーマンスでは、かき氷やチョコレートフォンデュ、ポップコーンの実演や

院内行事：七夕・星空



七夕をイメージした装飾



行事食：「七夕」メニュー



院内行事：お祭り



盆踊りの様子



行事食：かき氷の実演



入所者の皆さんが体験できるように工夫もされ、入所者の皆さんも実演のパフォーマンスを体験することで嬉しそうな表情が見られていました。また、病棟内にチョコレートやポップコーンの香りが広がり、香りでも楽しまれた様子でした。月に1度の季節のテーマに合わせたメニューの提供では、5月の「端午の節句」をテーマに鯉のぼりの形をしたオムレツや7月の「七夕」をイメージした星形のご飯、「土用の丑の日」

には、うなぎの蒲焼等のメニューが提供されました。毎月、見た目も味も楽しめるメニューに入所者の皆さんも楽しみにされています。

コロナ禍により、まだまだ先が見えない状況ではありますが、今後も多職種と連携しながら入所者の皆さんが笑顔になれる有意義な生活を提供できるように引き続き努めていきます。

院内行事：クリスマス



クリスマスの映像鑑賞の様子



行事食：「クリスマス」メニュー



「臨床腫瘍カンファレンス」の報告と「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」の様子をご報告します。



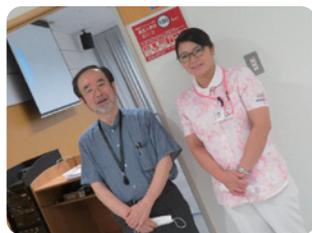
第43回 臨床腫瘍カンファレンス



地域がん診療連携拠点病院として、年2回ご案内していますが、今回は「コロナ禍における在宅医療とこれからの地域医療の展望」をテーマに、福岡市内で積極的に在宅医療・地域医療に携わられている『にのさかクリニック ニノ坂保喜先生』にご講演頂きました。

講演では、ニノ坂先生の在宅医療・地域作りへの積極的な関わりや、海外での活動、ポストコロナの医療者の在り方などのお話を伺いました。また、丁寧な在宅事例の紹介など、参加者も聴き入っていました。急性期病院だからこそ、地域の医療・介護者との連携で、できること・やらなければならないことなども考えさせられました。アツと言う間の90分でした。

コロナ禍で面会制限が続く中、当院で在宅療養を選択された患者さん・ご家族への支援を行った事例を退院調整看護師が報告しました。



退院調整看護師と記念撮影



講演の後も談笑



第9回 緩和ケア研修会

がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修

コロナ禍で昨年度は中止しましたが、本年度は感染対策を徹底した上で、6月19日に開催致しました。日常から離れて、グループワークやロールプレイングなど参加のみなさんは熱心に取り組まれており、がん患者さんやご家族への関わり方や多職種での支援など具体的なディスカッションがされました。次年度も開催予定です。ぜひご参加下さい。



※写真時のみマスクを外しています。

各種研修会は、地域の医療従事者の方は、どなたでも参加が可能です。
研修についてのお問い合わせは地域医療連携室まで（電話092-943 2331）


 当院の

おすすめスポット



 臨床検査科

PCR検査機器・安全キャビネット

ちどりをご覧の皆様、こんにちは。今回の院内おすすめスポットは臨床検査科、細菌室内にあるPCR検査機器と安全キャビネットです。



現在世界中でパンデミックとなっている新型コロナウイルス感染症ですが、感染の有無を検査する一助として「PCR検査」という単語を耳にする機会も多いのではないのでしょうか？当院においても昨年9月よりPCR検査が稼働しており、2021年7月現在で3000件を超える検査が実施されています。

当初は保健所や外注においてPCR検査を実施していましたが、当院にも東ソー社のTRCReady-80というPCR検査機器が昨年9月に1台目、11月に2台目が導入されました。また、今年11月より3台目を導入予定です。



(PCR検査機器 TRCReady-80)



(安全キャビネット)

患者様から検体を採取し、検査実施、そして結果報告ができるまでの過程を短期間で行える体制が整い、日々迅速な結果報告に貢献しています。

検体処理する臨床検査技師の感染を防ぐため安全キャビネット内での検体処理を義務付けており、アルコール消毒を含めたしっかりとした院内感染対策も施しています。

(生理学主任 中島 一樹)



編集後記

緊急事態宣言が解除された。宣言中には閉鎖されていた「不要不急」の公共施設がようやく使えるようになった。公園では遊具に貼られていた使用禁止のロープとシールが外されており、子供たちが楽しそうに遊んでいた。当たり前と思い込んでいた日常が少し戻ってきたのだと実感する▼もちろん陽性者の減少は歓迎されるものの、減った理由がよく分からないのであれば増える時もまた理由が分からないのではないかと不安が付きまとう。

● 素直に現状を受け入れつつ、今後の流行に備えることが我々のすべきことだと心得る▼さて本誌を企画するにあたり職員の皆様に広く記事を募集したところ、多くの方々より手を挙げて頂いた。コロナ禍においても各部署が知恵を絞り、より良いサービス提供に向けて工夫を凝らしていたことに敬意を表します▼希望を頂いたものの本号で掲載出来なかった記事も順次ご紹介致しますので、どうぞしばしお待ち願います。(黒木記)

外来担当医一覧 令和3年10月1日現在 ※最新の担当医はホームページをご覧ください。https://fukuokae.hosp.go.jp/

受付時間

- 1) 午前8時30分から午前11時00分まで。 ※予約の方は、指定された時間においで下さい。
- 2) 土・日・祝祭日・年末年始は休診です。当院は救急告示病院です。救急の方は、診療時間外でも受付いたします。

診療科	月	火	水	木	金		
内科新患(別紙参照)	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医		
脳神経内科	新患	田中 恵理	立花 正輝	芝原 友也	田中 恵理	黒田 淳哉	
	再来(脳血管内科)	松岡 幹晃	中根博・吉野文隆	黒田 淳哉	芝原 友也	立花 正輝	
	再来(神経内科)	-	田中 恵理	田中 恵理	九大医師	-	
糖尿病	新患	野原 栄	-	池内 千明	担当医	堤 礼子	
	再来	堤礼子・池内千明	-	野原栄・堤礼子	池内 千明	野原 栄	
血液内科	新患	-	担当医	担当医	-	担当医	
	再来	亀崎 健次郎	亀崎 健次郎	黒岩 三佳	-	黒岩三佳・坂本佳治	
消化器内科(消化管・肝臓)	肝	高尾 信一郎	多田 靖哉	鈴木 秀生	多田靖哉・高尾信一郎	-	
	膵胆	濱田 夢佳	大越 恵一郎	松尾 享	松尾 享	大越 恵一郎	
	消化管	藤井 宏行	中村和彦・坂井慈実	荒殿 ちほ子	田中 宗浩	安部 周吉	
腎臓内科	新患	高江 啓太	黒木 裕介	黒木 裕介	上野 雄貴	生島 真澄	
	再来	黒木 裕介	高江啓太・生島真澄	上野 雄貴	黒木 裕介	高江 啓太	
循環器科	第一診察室	小池 明広	小池 明広	小池 明広	山口 統子	山部 雄亮	
	第二診察室	細谷 まるか	進藤 周一郎	鳥谷 亮平	中司 元	吉岡 卓	
呼吸器科	新患	中野 貴子	田尾 義昭	高田昇平・池亀聡	吉見 通洋	山下 崇史	
		田尾 義昭	高田 昇平	吉見 通洋	高田 昇平	田尾 義昭	
		山下 崇史	山下 崇史	中野 貴子	池亀 聡	吉見 通洋	
		瓜生 和靖	池亀 聡	瓜生 和靖	今田 悠介	中野 貴子	
呼吸器外科	諸鹿 俊彦	濱武 大輔	若原 純一	中島 裕康	岡林 寛		
	内山 秀昭	信藤 由成	(手術日) ※急患は対応します	辻田 英司 是久 翔太郎	(手術日) ※急患は対応します	内山 秀昭 辻田 英司 信藤 由成 是久 翔太郎 龍神 圭一郎 石田 真弓	
外科	消化器	-	-	石田 真弓	-		
	乳腺	-	松本 拓也	松本 拓也	-		
	血管	-	松本 拓也	松本 拓也	-		
整形外科	新患	中家 一寿	福元 真一	(手術日) 外来休診	吉田 裕俊	(手術日) 外来休診	
		岡本 重敏	石津 研弥		清水 大樹		
	木村 敦	吉田 裕俊	江藤 聡一				
	再来	福元 真一	木村 敦		岡本 重敏		
脳神経外科	新患	保田 宗紀	保田 宗紀	(手術日)	保田 宗紀	吉永 貴哉	
	再来	保田宗紀・吉永貴哉	保田宗紀・吉永貴哉	保田宗紀・吉永貴哉	保田宗紀・吉永貴哉	保田 宗紀	
皮膚科(予約・紹介状をお持ちの方のみ)	古賀 哲也	当番医	古賀 哲也	古賀 哲也	古賀 哲也		
	河野 美己	河野 美己	河野 美己	河野 美己	河野 美己		
小児科	午前	一般	中原 和恵	黒川 麻里	中原 和恵	萩尾 泰明	中原 和恵
		専門(予約)	李守永・増本夏子	山下 文也	李 守永	山下 文也	綿貫圭介・萩尾泰明
	午後	一般	李守永・中原和恵	水野 勇司	李守永・中原和恵	増本 夏子	李守永・中原和恵
		専門(予約)	綿貫 圭介	血液(江口克秀)	循環器(長友雄作)	小児神経(米元耕輔)	
放射線科	新患	月～金 渡辺 哲雄(※事前に必ず電話予約が必要です)					
	再来	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
歯科口腔外科	吉田 将律	吉田 将律	吉田 将律	吉田 将律	(再来のみ)		
	田尻 祐大	田尻 祐大	田尻 祐大	田尻 祐大			
婦人科	内田 聡子	内田 聡子	内田 聡子	(手術日)	内田 聡子		
	安藤 真理子	安藤 真理子	安藤 真理子	安藤 真理子	安藤 真理子		

*小児科の入院依頼や受診相談は、病院代表 092-943-2331 から
小児科紹介担当医師(月・黒川/火・綿貫/水・萩尾/木・李/金・山下)へ、
夜間休日は小児科当直へご連絡ください。

●物忘れ外来《特殊外来》

完全予約制(内科外来 内247)【担当医 田中】
『金曜日 13:30~14:30』予約受付は平日月～金 13時～15時の間でTEL 予

●緩和ケア外来

完全予約制(担当看護師 内8184)【担当医】『火曜日・木曜日 午前中』

独立行政法人国立病院機構
福岡東医療センター

〒811-3195 福岡県古賀市千鳥1丁目1-1
HP https://fukuokae.hosp.go.jp/
TEL 092-943-2331
0120-212-454 (地域医療連携室)
FAX 0120-087-437